

# 小田原発!

# 再生可能エネルギーの



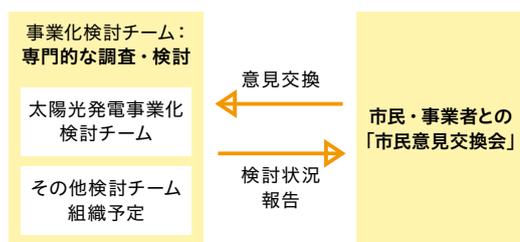
問 エネルギー政策推進課 ☎ 33-1424

東日本大震災後の計画停電は、地域社会に大きな不安を与え、地域経済にも大きな影響を及ぼしました。これをきっかけに、「地域で消費するエネルギーを地域で作出し、安定したエネルギー供給ができる地域社会を目指すべき」との声が高まっています。



## 小田原再生可能エネルギー 事業化検討協議会

役割：各種再生可能エネルギーの導入促進事業の仕組みを策定



事務局：小田原市

- 1 安定した電力供給と運営
- 2 地域への還元
- 3 皆が参加できる仕組みづくり
- 4 災害時の地域への電力供給
- 5 小田原からの情報発信

「創エネ」、「省エネ」、「みんなのエネルギー」の3つを目標に小田原再生可能エネルギー事業化検討協議会

市では、太陽光をはじめ、水力、風力、バイオマスなど再生可能エネルギーの導入を促進するため、昨年12月に市民・民間事業者と「小田原再生可能エネルギー事業化検討協議会」を立ち上げました。3つの目標と5つの方向性を掲げ、再生可能エネルギーの事業化の検討をしています。



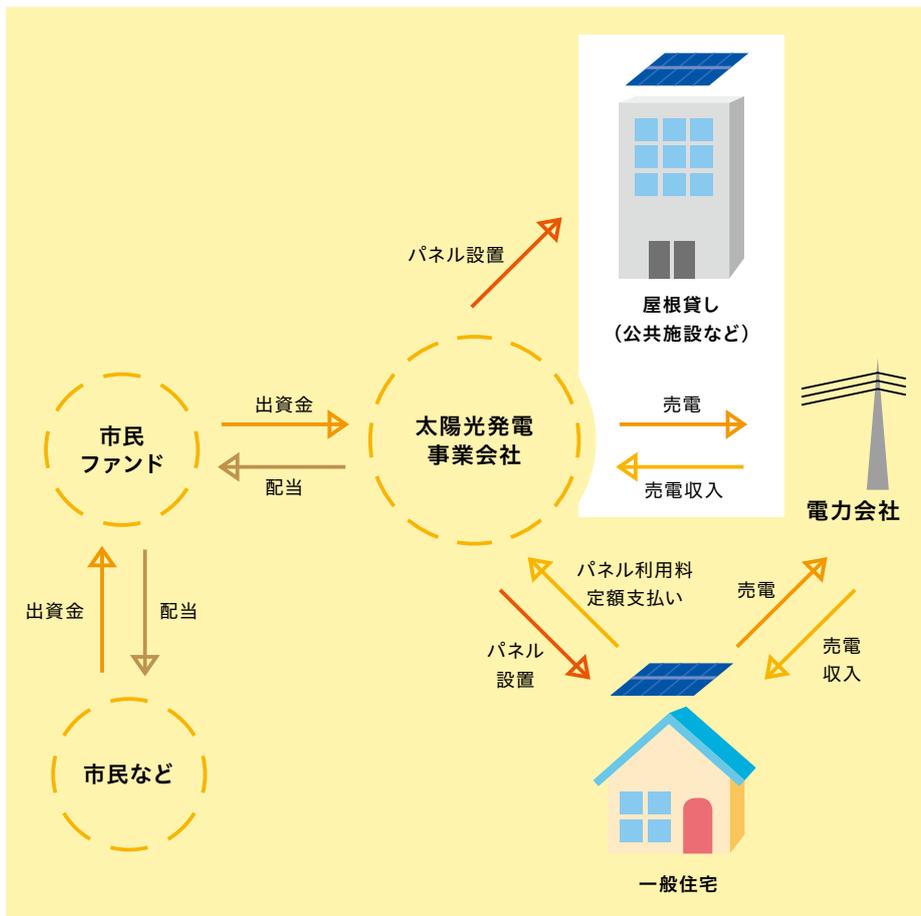
協議会メンバーによる先進地視察（長野県 飯田市）

太陽光発電普及事業を検討

県内市町村の中でいち早く、平成12年度に住宅用太陽光発電システム設置補助制度を始めた小田原市。協議会でも、多くの人が取り組める太陽光発電事業化の検討から着手しました。

協議会内に「太陽光発電事業化検討チーム」を組織し、太陽光発電が普及する仕組みを検討。協議会では、先進事例視察、専門家による講演会、市民意見交換会を行い、事業の素案を作りました。

## 事業イメージ



## 太陽光発電普及のための仕組みって？

再生可能エネルギーに関心のあるかたなどから事業のための出資を募り、市内の公共施設に太陽光発電システムを設置する「屋根貸しソーラー事業」や一般住宅で、初期費用を抑えて太陽光パネルを設置できる仕組みを検討しています。発電によって得られた収益などを出資者へ

配当。市民の意思のあるお金で再生可能エネルギーが普及する事業の仕組みです。今年度は太陽光発電事業の採算性など詳細な検討を進め、平成25年度の事業開始を目指します。太陽光発電のみならず、エネルギー源の多様化を進める観点から、市内の河川や水路などを利用した小水力発電の事業化なども探っていきます。

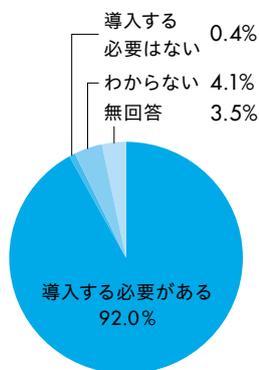
## 市民の思い 再生可能エネルギー

市は、再生可能エネルギーの普及に向けて、市民と市内事業者に対し、アンケート調査を実施しました。再生可能エネルギーの導入については、アンケートに回答した市民の約9割、事業者の約8割が「必要である」と感じています。「必要である」と回答した市民の多くは、多様なエネルギー源による供給体制や、より安全安心なエネルギーの確保を求めています。事業者からは温室効果ガスを削減し、良好な地球環境を引き継ぐことを求める声が目立ちました。また、太陽光発電について、設置費用が高額であると感じ、導入を見送るかたも多いようです。

### 再生可能エネルギーについて、どう思う？

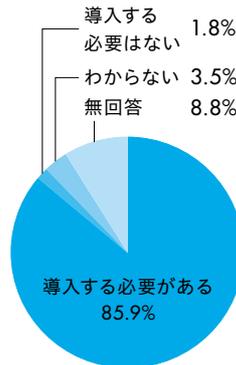
#### —市民—

再生可能エネルギーの導入について、無作為抽出の市民1500人に聞きました(542人が回答)。



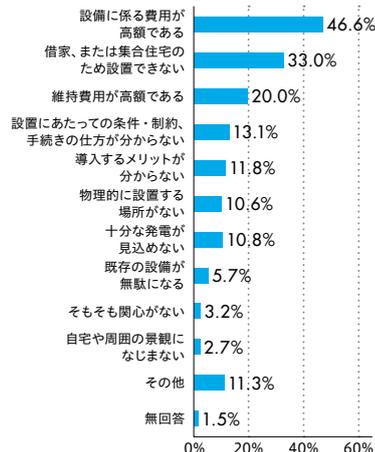
#### —事業者—

再生可能エネルギーの導入について、市内事業者100社に聞きました(57社が回答)。



### 太陽光発電設備導入について、何が課題？

太陽光発電設備の導入を検討しない理由について、市民1500人に聞きました(406人が回答)。「複数回答」



## 協議会コーディネーター に聞きました

地域の特性を生かして、  
取り組めるように



志澤昌彦さん

再生可能エネルギーは大変注目されてきています。小田原まちづくり学校(※)の「エネルギーの自給自足を考えよう」に参加し、地域のことは地域で取り組んでいかなければならないと改めて強く感じました。今後は大手企業なども多く参入すると予想されますが、この協議会では、地域が地域の特性を生かして取り組むという点で、他との差別化をしていきたいと思えます。今、環境問題に取り組んでいる人とも連携し、できるだけ多くの人と関わっていきたいです。

## 10年、20年先を しっかりと見据え



鈴木大介さん

再生可能エネルギーが普及するには、環境問題に興味を持っていただき、多くのかたに参加をしていただかなければ成り立ちません。10年、20年といった長期事業の計画や戦略的な広報活動を考え、環境意識と投資価値の両方を高め、より多くの人に参加できる仕組みを考えたいと思えます。

※ 小田原まちづくり学校

より高い学識と実践能力を養うための分野別講座を、それぞれの分野で活動している市民を対象に実施し、将来の小田原を担う人材を育成しています。平成23年度は、第1講座「エネルギーの自給自足を考えよう」、第2講座「子どもにやさしいまちづくり」、第3講座「地域の素材を活かしたまちづくり(地域力創造)」の3つの講座を実施した。